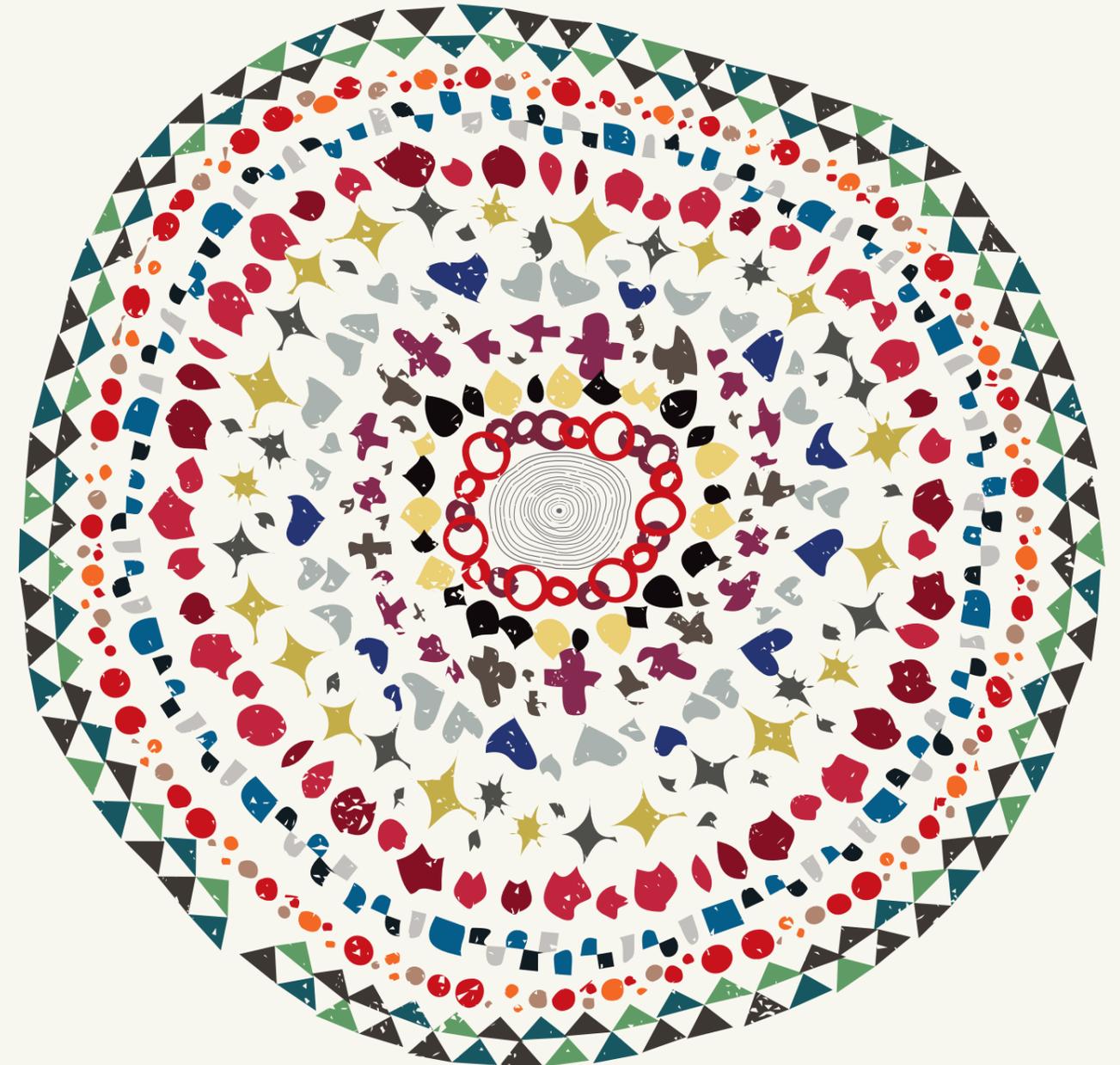


行政、民間、地域、人をつなぎ、男女が対等な立場であらゆる分野に参加・参画できる社会づくりをめざす団体です。



ドーン財団

一般財団法人 大阪府男女共同参画推進財団

〒540-0008

大阪府中央区大手前1-2-15

大手前センタービル12F

TEL 06-6910-8625

FAX 06-6910-8624

URL <https://www.dawn-ogef.jp>



愛称「ドーン財団」について

財団がドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター)を拠点に活動してきたことにちなむ愛称。ドーンセンターとともに、ドーンと進んでいこう、という思いを込め、設立20周年を記念して平成26(2014)年度に決めました。ドーンセンターは、平成6(1994)年の開館時に大阪府の公募によって選ばれた愛称で、「夜明け」や「物事の始まり」を意味する英語DAWNと、大阪の女性たちの「ドーンと行こう」という心意気を表しています。

女性活躍推進に向けた取組(事業者登録・認証等)

■大阪府男女いきいき・元気宣言事業者登録(平成22年1月13日)

■大阪市女性活躍リーディングカンパニー2つ星認証(令和2年3月1日)



はなみずき女性支援センター

暴力被害等によって困難な状況にある女性をサポートし、
社会復帰を応援するための寄附金を募ります。

寄附金は、シングルマザーを応援する様々な事業に活用しています。実施の際には、必ず一時保育を行い、この費用に寄附金を充て、安心して参加いただける環境を整えています。同じ立場の女性同士で語り合い、リラックスできる1日を提供しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS (SDGs) :
持続可能な開発目標は、2015年の国連サミットで採択された、2030年までの17の国際社会共通目標です。ドーン財団は、ジェンダー平等を実現するため、パートナーシップを大切に取組みます。

一つひとつの年を積み重ね、広がっていく年輪のように
多様性を尊重しながら、一歩一歩確実に広がりをもせる
男女共同参画社会の輪を表現しています。

25周年を終えて次の時代へ 男女共同参画社会の実現に向けてわたしたちはチャレンジを続けます!

ドーン財団

基本理念・目的

「男女が対等な立場で、あらゆる分野へ参加・参画することができる社会の創造」を基本理念とし、社会的・経済的な男女格差の是正、女性のエンパワメントのための専門的で総合的な支援機能を果たしていくことを財団運営の目的としています。

運営方針 — 3つのC —

Continue 継続のC

20世紀に起こった女性の社会参加・参画への理念・熱意、ジェンダー格差是正のための意識改革、女性のエンパワメントの意欲などを継承します。

Collaborate 協働のC

国や自治体、企業、NPO等の社会活動団体、教育機関などと「協働」の取り組みを新しい分野に広がります。

Change 変革のC

日常生活の中へも意識改革を進め、男女共同参画社会づくりの課題となる慣行や制度を変革する事業を展開します。

沿革

- 平成6(1994)年
 - 4月 財団法人大阪府男女協働社会づくり財団設立
 - 11月 ドーンセンターの施設管理、事業運営を開始
- 平成15(2003)年
 - 4月 財団法人大阪府男女共同参画推進財団に名称変更
- 平成18(2006)年
 - 4月 ドーンセンター指定管理業務開始
- 平成22(2010)年
 - 4月 行財政改革により大阪府からの支援のない財団として自立
- 平成23(2011)年
 - 4月 ドーンセンターの指定管理業務
 - 4月 東大阪市立男女共同参画センター(イコーラム)指定管理業務開始
- 平成24(2012)年
 - 4月 法人制度改革に伴い一般財団法人に移行
- 平成26(2014)年
 - 4月 東大阪市立男女共同参画センター(イコーラム)指定管理業務(2期目)
 - 10月 財団の愛称を「ドーン財団」と発表
- 平成27(2015)年
 - 4月 「はなみずき女性支援センター」設置
- 平成28(2016)年
 - 4月 財団事務所移転 ドーンセンター指定管理業務 財団を代表とする4団体で構成する「ドーン運営共同体」によるドーンセンターの施設管理とライブラリーの運営を実施
- 令和元(2019)年
 - 4月 財団設立25周年を迎える 東大阪市立男女共同参画センター(イコーラム)指定管理業務(3期目)

ドーン財団役員

- | | |
|------------|--|
| 評議員 | 上田理恵子 株式会社マザーネット代表取締役 |
| | 熊和子 元毎日放送ラジオ局長 |
| | 高瀬久美子 弁護士 |
| | 高田昌代 神戸市看護大学教授 |
| | 時岡禎一郎 学校法人大阪女学院監事 |
| | 林紀美代 公認会計士 |
| 代表理事(常務理事) | 焼野嘉津人 大阪府キャン協会常務理事 |
| 特任理事 | 早瀬昇 社会福祉法人大阪ボランティア協会理事長 |
| 理事 | 伊田久美子 大阪府立大学名誉教授、認定NPO法人ウイメンズアクションネットワーク副理事長 |
| | 仁科あゆ美 (一財)大阪府男女共同参画推進財団本部長 |
| | 畑律江 毎日新聞大阪本社芸芸部専門編集委員 |
| | 吉田依子 (一財)大阪府男女共同参画推進財団統括責任者 |
| 監事 | 谷口悦子 公認会計士 |
| | 中島ふみ 弁護士 |

ドーン財団アドバイザー

- | | |
|----------|---------------------------------------|
| 伊藤公雄 | 京都産業大学客員教授、京都大学名誉教授、大阪大学名誉教授 |
| 井上泰明 | 元一般財団法人自治体国際化協会国際協力課長、元大阪府男女参画・府民協働課長 |
| 川中大輔 | シチズンシップ共育企画代表、龍谷大学講師 |
| 木下みゆき | 大阪大谷大学教授 |
| 黒瀬友佳子 | 帝人株式会社CSR・信頼性保証部企業倫理・コンプライアンスグループ長 |
| 弘本由香里 | 大阪ガス株式会社エネルギー・文化研究所特任研究員 |
| 増井香名子 | 新見公立大学講師、大阪府立大学客員研究員 |
| ローラ・ゲールズ | 西オーストラリア州立大学准教授 |

令和元(2019)年度の主な事業

受けとめ・寄り添う

- こころ、からだ、性に関する悩み、配偶者・パートナーからの暴力等、日常の様々な問題に関する相談・カウンセリング(受託事業)
- 大阪府男女共同参画推進のための相談事業：女性のための相談事業(電話相談、面接相談、法律相談、サポート・グループ)／男性の電話相談／市町村相談事業への支援／若年層におけるジェンダー課題の研究 他
 - 大阪府不妊専門相談センター事業 電話相談／面接相談／サポート・グループ／講座・セミナー
 - 大阪府「相談会」における女性相談業務<自主事業>
 - シングルマザーのためのグループ・キャリアカウンセリング

支え・応援する

- すべての女性が、自分の人生を主体的に選択し、自立できるように応援(自主事業)
- シングルマザーのためのはなみずきセミナー
 - シングルマザーの応援フェスタ2019 同じ立場の人が交流、情報交換し、リラックスできる1日を提供。

未来を育てる

- 次世代の育成と共同参画社会へ向けた自立のために
- <自主事業>
- 女子高校生のためのサマースクール ガールアップセミナー2019(助成:駐大阪・神戸米国総領事館)
- <受託事業>
- 大阪樟蔭女子大学/大阪女学院大学・短期大学 他
- <講師派遣事業>
- 龍谷大学/関西大学第一高等学校/大阪府立成城高等学校/大阪成蹊女子高等学校/大阪府立枚方高等学校/大阪府立枚方女子高等学校/大阪府立立花高等学校/大阪府立北陽中学校/岸和田市立立花中学校/岸和田市立土生中学校/岸和田市立桜台中学校/岸和田市立春木中学校 他

2010年に大阪府から独立し、活動の幅を広げました。これまでに培った幅広いネットワークで行政、民間、地域、人をつなぎ、誰もが自分らしい人生を選択し、互いに尊重し合える社会を目指します。

地域における男女共同参画の推進

- | | |
|--|--|
| <p><指定管理事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ●東大阪市立男女共同参画センター(イコーラム) <p><自主事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ●フェミニストカウンセリング専門講座/グループ・スーパービジョン 他 <p><受託事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ●国(内閣府主催事業の事務局を担当)：東日本大震災による女性の悩み・暴力相談事業/女性に対する暴力被害者支援のための官官・官民連携促進ワークショップ事業運営業務/男女共同参画社会の実現に向けた男女共同参画センター等の管理者等との情報交換会運営支援業務/国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業運営業務 <p><講座・研修コーディネート事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ●地方自治体：石川県/大阪府/広島県/伊賀市(三重県)/泉大津市/四條畷市/田辺市(和歌山県)/新居浜市(愛媛県)/守口市 他 | <p><講師派遣事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ●地方自治体：長岡京市(京都府)/東大阪市教育委員会 他 ●団体等：(一財)大阪市男女共同参画のまち創生協会/独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター /国際ソロプチミスト大阪/国際ソロプチミスト大阪-中央/独立行政法人国立女性教育会館/四條畷市事業所人権連絡会/公益社団法人消費者関連専門家会議(ACAP)/特定非営利活動法人全国女性会館協議会/大阪大谷大学/学校法人大阪女学院 他 ●共催事業) <ul style="list-style-type: none"> ●公益財団法人大阪府市町村振興協会 |
|--|--|

ドーン財団は、積み重ねた長年のノウハウとネットワークを活かし、多様なプログラムをご希望に応じて企画から実施までコーディネートします。

財団の活動実績

- | | |
|--------|---|
| ●委員・嘱等 | おおさか市町村職員研修センター運営審議会委員(公益財団法人大阪府市町村振興協会) 有園博子基金企画委員、有園博子基金選考委員(公益財団法人ひょうごコミュニティ財団) 門真市男女共同参画審議会委員 |
| ●研究協力 | 専門図書館協議会関西地区連絡会委員(専門図書館協議会) 女性の学びとキャリア形成・再就職支援実証事業協議会メンバー((株)アクセプト) |
| ●会員等 | ひとり親家族を生活主体とする支援のあり方に関する日韓共同研究 特定非営利活動法人全国女性会館協議会、OSAKA女性活躍推進会議、関西SDGsプラットフォーム 他 |